

交通安全教育を推進 笠松町高齢者交通安全

大学校が開校



都竹羽島警察署長の前で「高齢者交通安全宣言」を読み上げる伊藤学生会長（老人クラブ連合会長）

平成十五年の県下の交通事故
 故死者百八十六人中、高齢者は
 八十人で全体の四十三パーセ
 ントを占めています。
 また、町内での交通事故の発
 生件数や死者数・負傷者数の増
 加率が高く、高齢者の被害者数
 も、平成十四年は九人でしたが
 平成十五年には十四人と大幅
 に増加しました。

このような状況から、今
 年度笠松町は「高齢者交通
 安全モデル地区」に指定さ
 れ、高齢者のかたがたに対
 する参加型・体験型などの
 交通安全教育を推進する
 ため、五月十日、中央公民
 館で「笠松町高齢者交通安
 全大学校」が開校され、開
 校式には学生（高齢者）約
 三百人が出席されました。
 開校式終了後には、外来
 講師の小島基次さんによ
 る「交通安全と健康」と題
 した講演があり、事故を起
 こさない、被害者にならない
 ために、日ごろからのよう
 なことに気を付けたらよいか
 をユーモアを交えて話されま
 した。
 なお、学生の皆さんは平成十
 六年度中にピカピカ体験教室
 やシルバードライビングス
 クールなどの交通安全教育に
 より、交通安全意識の高揚と交
 通事故防止に努められます。

洪水に備え水防演習

木曾川右岸地帯水防連合

「猪の子工開始！」

団長の号令とともにキビキビ
 と作業を始める水防団員たち。

五月九日、木曾川右岸地帯水
 防事務組合（管理者 広江町長）
 主催の水防演習が笠松競馬場三
 角駐車場で行われました。
 演習は、出水期を前に団員の
 志気の昂揚と作業能力の向上を
 図り水防体制を強化することを
 目的に、笠松町をはじめ、岐阜
 市、各務原市、岐南町、柳津町
 から十五水防団約四百二十人が
 参加。梅雨前線と台風の影響で

木曾川上流に大雨が降り、犬山
 で警戒水位が突破したという想
 定で、団員たちが本番さながら
 に「五徳工」や「豊張り工」な
 ど十二工法を行いました。
 また同日、長年水防団活動に
 貢献された次の皆さんへ表彰状
 の伝達と授与がありました。

当町関係分

（敬称略）
岐阜県知事表彰（伝達）
岐阜県知事表彰（伝達）
【紫功労賞】 高橋伸治
【紅功労賞】 川口賢、松原良吉、
 武仲健一



降りしきる雨のなか、本番さながらにキビキビとした動作で「積土のう工」を行う団員たち

「猪の子工」を行う団員たち



管理者表彰

【功 労 章】田島正年、吉田眞
 吾、林幹朗、柴田敏夫
 【勤労章一号】伊藤茂雄、田中信
 夫、堀和夫、金子守夫、塩原浄、
 松原幸雄
 【勤労章二号】赤塚道和、後藤勝
 日比野博、後藤昇、足立武男、
 松原由尚、河田義和、澤田友弘、
 田島直人、伏屋隆男、松原康雄、
 田島智、吉田寛、藤井俊幸、馬
 場政男